岡山市ＰＴＡ協議会講演会

「スマホ時代を生きる子どもたち ～取材から見えてきたもの」

山陽新聞社　報道部
大橋　洋平

2008年
連載企画「ネット汚染～迷走する子どもたち」取材班
　携帯電話が爆発的に普及
　学校裏サイトでの誹謗中傷、モバゲーでの性被害多発

2014年2月～7月
連載企画「子どもが危ない　深刻化するネットの闇」取材班
2015年1月～6月
連載企画「子どもが危ない　深刻化するネットの闇Ⅱ」取材班

なぜ、連載が始まったか

スマートフォンの爆発的な普及（2008年～）
　どこでも、より簡単にネットにアクセスできる環境

携帯ゲーム機、携帯音楽プレーヤーなど
　多様化する情報端末

生まれた時からネット環境が身近にある
　「デジタルネーティブ」
→ デジタル機器に抵抗感がなく、すぐ使いこなすが、
　情報モラル教育が追い付いていないのが現状

その結果→

- ネット上の誹謗中傷、いさかい
　（いじめ被害、自殺未遂も）
- 長時間使用に伴う生活習慣の乱れ
　（学力低下、不登校も）
- 課金トラブル
- 性被害
- 不適切投稿（バカッター、個人情報流出）

子どもたちの間で問題が頻発！

大人は知らない

ネットにつながるのは携帯電話やスマートフォンだけではない

- 携帯音楽プレーヤー
- 携帯ゲーム機
- 中古スマホ

スマホを含め無線ＬＡＮ対応
　→携帯会社のフィルタリングが無効

アプリのダウンロードや写真・動画撮影も

携帯ゲーム機

岡山県内でも携帯ゲーム機によるネットいじめが起こる

岡山市内のある小学校では、児童の７割以上が所持
　そのうち６割にネット接続経験が
　　もはや、おもちゃではない

有線ＬＡＮは全国の家庭の半数近くが導入済み。
公衆スポットは県内約８７００カ所

①昼夜逆転

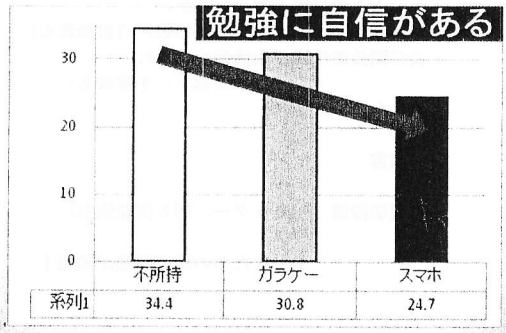
- 岡山県内の中学１年生男子Ａ君
- 音楽プレーヤーで動画に夢中
- 毎日寝るのは午前３時
- 授業に集中できない
- 学校に行けなくなった
- 保護者は理解できなかった

岡山の全国学力テストの成績

中学校３年生の数学Ａの正解率
スマホ・ゲーム
「１時間未満」「４時間以上」
平均正答率に１７点の差！！

他の教科も１０点以上の差

岡山中学生アンケート



脳科学者
川島隆太東北大教授

学力検査の成績とスマホ・携帯電話の使用時間
・２０１３年度　仙台市内の中学生約２万４千人対象

１日２時間以上勉強する生徒のうち
スマホ・携帯の使用時間が１時間以下は平均７５点
スマホ・携帯の使用時間が３時間以上は平均６１点
スマホ・携帯の使用時間が４時間以上は平均５７点

１日の勉強時間が３０分以下の生徒のうち
スマホ・携帯を使わない生徒は平均６２点
スマホの長時間使用が、学習効果を打ち消している！

②不適切投稿

- 岡山県内の中学１年Ｂ子
- 友だちＣ子とカラオケに行ったときの写真を投稿
- うつりが悪い写真で、Ｃ子は怒る
- Ｂ子は仲間はずれに
- 慰謝料と言って金を取る

個人情報に注意

Webサイトやブログ、掲示板などは個人が手軽に情報を発信できるメディア
→誰でも閲覧できる

安易に自宅や学校の場所、自分や家族の名前、写真、許可なく友達や家族の写真もＮＧ。もちろん見掛けた有名人の写真や様子もだめ！

LINEは大丈夫は大間違い

・岡山県内の中学２年のA君が、交際相手の女子生徒のわいせつ画像をLINEグループに投稿

・受け取った同級生が別グループに転載し拡散

→男子や同級生十数人が警察の取り調べ
児童ポルノ製造、頒布容疑で書類送検

将来に影響

コインランドリーの洗濯機に入る、未成年の飲酒、無免許運転・・・

ネット上で名前や住所、家族構成などまで流出。永遠に消えない。

↓

受験、就職試験、結婚、各種契約に影響

③課金

- 岡山県内の小学４年生Ｄ子ちゃん
- お姉ちゃんのお古の音楽プレーヤーをもらう
- 着せ替えを楽しむゲームにはまる
- 保護者に内緒で人形（アバター）の洋服や部屋の家具を
  本物のお金で購入
- ばれなかったから、繰り返す
- １日に５千円以上

小中学生の課金が増加

国民生活センターへの相談は岡山県から２０１３年度は３４件。最も多かったのは１３～１５歳（１９件）、次いで７～９歳（８件）

→相談した人だけなので、もっと多い

最高額は１人１２０万円！

④ＬＩＮＥトラブルⅠ

岡山県内の高校３年女子

「おめえの首の骨折って、山にすててやる」
←親友に言われる

きっかけは女子生徒が送った「了解」。
「何か不満でもあんの？」
売り言葉に買い言葉で発展。空き地に呼び出される。

やりとりはすべてＬＩＮＥ。

警察に相談。以来、関係断絶

⑤ＬＩＮＥトラブルⅡ

中学１年のＢ男くんは入学祝いでスマホ

友だちとＬＩＮＥを楽しんでいた

突然、「死ね」「うざい」と攻撃される

Ｂ男と話したら「罰金５千円」

原因は、野球観戦で、Ｂ男が応援そっちのけでスマホに夢中になっていたこと

親は気付かない。先生は知っても対応出来ない

LINEいじめの特徴

危険なのは夏（春にアドレス交換＝入学前にも）

・リアルな関係＜文字での関係
・ささいな行き違いが大きなトラブルへ
★背景には
・スマホ、ＬＩＮＥで仲間意識が強まる
１日数十通もやり取りする一方、人間関係自体は未熟、希薄
（つながり過剰症候群）

LINEいじめの特徴

複数の友人、不特定多数からの中傷
・文字としていつまでも残り、多くの人に見られる
・周りが同調することへの恐れ

＜空気を読む＞
ＫＹと言われたくない
「やめろよ」というと自分に攻撃が

気にしすぎが、
LINE上の中傷をエスカレートさせる

大人に相談しない

「大人に言えば、大人に言ったことがばれて、余計にいじめられる」
「大人はネットのこと何も知らないもん」
「学年集会があるかも」
「自分が怒られる」
と言った児童生徒が多い。

企業の言い分

ＬＩＮＥ担当者
「文字情報のコミュニケーションは必要最低限」
「ＬＩＮＥはあくまでもコミュニケーションの補完アプリ」
★肝に銘じなければ！
感覚や常識は人と微妙に異なる
夜遅いっていつ？
まじめ、天然、個性的って悪口？

⑥知らない人とやりとり

岡山県西部の中学２年のB子
昨年夏、ゲームサイトで知り合う
「大阪の男子高生、サッカー部主将」
写真はイケメン　LINEで交際申し込み
会ったこともないのに半年間、交際
でも、相手の言葉が真実かは不明

簡単に信じない

・ネットは打ち明け話をしやすい
・文字でのコミュニケーションは取りやすい
でも、成り済まし、偽りが簡単！

本当の人間関係が築けていますか？
★共通の知り合いがいない関係が危険
→うそや不誠実な誘惑、非常識な仕打ちにつながる

フィルタリング

年齢や判断力に応じた細かい設定が可能です
カスタマイズでＬＩＮＥ、ツイッターも使用可能に

○ガラケー→携帯電話会社のフィルタリングを利用
○スマホ→①携帯電話会社のフィルタリング
②無線LANのフィルタリング
③アプリ用のフィルタリング

○ゲーム機や音楽プレーヤー→個々の説明書や販売元に

コミュニケーション大切に

機器の中での、子どもたちのやりとりや、行動すべてを把握するのはほぼ不可能

↓

話のきっかけを見つけて、普段から友だち関係や携帯の使い方について話をしてほしい。学校でも家庭でも

岡山県教委　統一ルール

- 保護者が午後９時以降はスマホを預かりましょう
- ゲームも午後９時まで
- 学校でスマホなどについて考える場を設けましょう

OKAYAMAスマホサミット

生徒が「主役」
２０１４年１１月、「ＯＫＡＹＡＭＡスマホサミット」立ち上げ
山陽新聞社主催、県教委、岡山市教委共催

１５年３月まで計４回開催　毎回約３０人が意見交換
連載「子どもが危ない」と連動

中学生のフレッシュかつ大胆なアイデアを次々と具体化。

OKAYAMAスマホサミット

中学生アンケートでスマホ・携帯の利用実態を明らかに。
→結果を基に

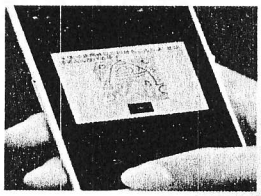
・長時間使用を警告するアプリ
・ネットトラブルを題材にした啓発動画
・スマホの適切な使い方を呼び掛ける三つの宣言を採択
・宣言をテーマにした啓発ポスターを作成

今年５月２４日、成果報告会
生徒がパネルディスカッション

桃太郎アラーム

- 長時間使用を警告するアプリ
一定の使用時間を超えると、桃太郎らが音声などで警告
「注意報」「警報」「特別警報」の３段階の設定が可能
「強制的な使用制限ではなく、使い方を考えながら自主管理できるアプリ。多くの小中高生に使ってほしい」

グーグルプレイでDL
「桃太郎アラーム」



子守スマホ

- 新たな課題として浮上
  子育てニューエイジが育児にネットを活用
  子育てアプリ「あやし系」「ハウツー系」
  →草分け的存在「鬼から電話」
  泣き止み動画「ふかか　ふっか」
  絵本の読み聞かせアプリ
  動画サイト・ユーチューブでアニメや幼児向け番組

「ネットを活用した育児は人類史上初」

広がる子守スマホ

- 笠岡第一病院の電子メディア利用実態調査
  ２０１４年夏　小児科外来を訪れる保護者を対象
  ３～５歳の４割弱がスマホを使用した経験
  中には１日の使用時間が４時間を超える１歳児も

- 滋賀県長浜市の乳児健診アンケート
  ２０１４年末、１歳、２歳、３歳児健診の保護者対象
  スマホで親子一緒に遊んだ経験は？
  １歳児７１％　２歳児８０％　３歳児８２％

問題？

液晶画面のブルーライトで睡眠障害が起きる
遠近感をつかむ立体視力が育ちにくい

１日の親のスマホ使用時間が長いほど、
夜９時まで寝かせる割合　→　低下
子どもの虫歯の割合　→　増加

スマホを長時間見入る乳幼児は脳がまひ状態
前頭葉はコミュニケーションで発達
→スマホ長時間利用で感情が抑えられない子に

ママの立場

- 忙しくて相手できない（働くママの増加）
- 泣かれる、騒がれると周りに迷惑
- 自身もテレビを見て育った

頭からスマホ子守を否定すると、
ママを追い詰める

みな後ろめたさはある。
時間を３０分程度に抑えるなどの意識が大切

とにかく
当事者意識
持ってください！！！

最後まで聞いていただき、
ありがとうございました